

ウズベキスタン共和国概要

2025年9月
(一社)ROTOBO

1. 基本情報

- (1) 地勢：旧ソ連中央アジアの中央部に位置し、北部および西部国境をカザフスタン、南にトルクメニスタンとアフガニスタン、東にタジキスタン、キルギスと国境を接する。



- (2) 面積：44万7,400km²（日本の約1.2倍）

- (3) 人口：3,754万人（2025年年初、ウズベキスタン国家委員会）

- (4) 首都：タシケント市（311万人）

- (5) 主要都市：ナマンガン市（71万人）、サマルカンド市（59万人）、アンディジャン市（49万人）、ヌクス市（34万人）、フェルガナ市（32万人）、コーカンド市（31万人）ブハラ市（30万人）、ナヴォイ市（16万人。人口規模こそ少ないが金・ウラン採掘業が発達し、経済規模が大きい）



- (6) 民族：ウズベク人 84.4%、タジク人 4.9%、カザフ人 2.4%、カラカルパク人 2.2%、ロシア人 2.1%、その他 4.1%（2021年初、ウズベキスタン統計国家委員会）
- (7) 言語：公用語はウズベク語。またロシア語も広範に使用される。
- (8) 宗教：イスラム教（主にスンニ派）

2. 政治情勢

(1) 略史

現在のウズベキスタンの領域にはサマルカンド、ブハラ、ヒヴァ、コーカンドなど、古来、東西交易の要衝として栄えた都市が数多く存在する。19世紀後半、同地域を支配下に置いたロシア帝国はタシケントにトルキスタン総督府を設立、綿花栽培を中心とする植民地経営を行った。革命後の1924年、ソ連中央が行った中央アジア民族境界画定によりウズベク・ソヴィエト社会主義共和国が連邦構成共和国として設立された。1980年代後半に始まるソ連解体の過程の中でウズベキスタンは1990年6月に共和国主権宣言、翌1991年、モスクワのクーデター未遂事件直後の8月31日に独立宣言を行い、国名を現行のものに改めた。1991年末のソ連崩壊を経て実質的な独立国となる。

(2) 独立後

初代大統領のカリモフ大統領は、1991年の独立以来25年間、強力な指導力を持って政治・経済両面にわたりCIS諸国では異例の安定した強力な国家の指導体制を率いた。2016年9月カリモフ初代大統領の急逝後、同年12月に大統領選挙が行われ、ミルジヨエフ大統領が誕生した。現在、同大統領は政治、経済、社会、外交等の幅広い分野で改革路線を打ち出している。

(3) 大統領

シャフカト・ミルジヨエフ大統領（MIRZIYOYEV, Shavkat Miromonovich）：

1957年7月生（68歳）。1981年タシケント灌漑・エンジニアリング・農業大学卒業。1981年からタシケント灌漑・エンジニアリング・農業大学で勤務。研究員、教員、学部長などを歴任。コムソモール機関、党組織に勤務。1990～1996年タシケント灌漑・エンジニアリング・農業大学副学長。1990～1999年ウズベキスタン共和国最高会議代議員。1996～2001年9月ウズベキスタン共和国ジザク州知事（ホキム）（2000年1月再任）。1999～2004年代議員。2001年9月～2003年12月ウズベキスタン共和国サマルカンド州知事（ホキム）。2003年12月～2016年12月首相（2005年1月上下両院で承認されて再任。2010年1月下院で再任を承認。2015年1月下院で再任を承認）。2016年9～12月ウズベキスタン大統領代行。2016年12月4日の大統領選挙で勝利。2016年12月14日大統領就任式。2021年10月24日に実施された大統領選挙では80%近く得票し圧勝、二期目に突入した。

3. 経済状況

（1）経済水準

（イ）GDP（2024年）：1,149.7億ドル*

（ロ）国民1人当たりGDP（2024年）：3,161.7ドル*

（ハ）1人あたり平均月額給与（2024年）：536万スム（約414ドル）**

（2）主要産業・輸出品

（イ）主要産業：綿繊維産業、食料加工、機械製作、資源採掘（金、銅、ウラン、天然ガス）

（ロ）主要輸出品：金、サービス、石油・ガス・石化製品、綿繊維、食料品、鉄・非鉄金属

（ハ）主要輸入品：機械類、輸送機器、化学製品、鉄・非鉄金属、石油製品

（3）経済指標（前年比増減率、%）

ウズベキスタンの主要経済指標（対前年同期比 %）**

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
実質GDP（対前年増減率、%）	7.2	5.9	4.4	5.6	6.8	1.6	8.0	6.0	6.3	6.5
鉱工業生産（対前年増減率、%）	5.3	5.4	5.3	10.8	5.0	0.9	8.8	5.3	6.3	6.5
農業生産（対前年増減率、%）	6.1	6.3	1.0	0.2	3.3	2.7	3.9	3.6	4.0	N/A
固定資本投資（対前年増減率、%）	9.4	4.1	19.4	29.9	38.1	▲ 4.4	2.9	0.2	23.4	27.6
商品小売販売高（対前年増減率、%）	16.0	19.3	1.3	0.0	8.6	5.0	17.0	10.8	10.5	11.7
消費者物価指数（前年12月比増減率、%）	5.6	5.7	14.4	14.3	15.2	11.1	10.0	12.3	8.8	9.8

◆データ出所：*世界銀行、**ウズベキスタン国家統計委員会。

4. 対外関係

（1）貿易*

（イ）貿易額

輸出（2024年）：272.7億ドル

輸入（2024年）：399.6億ドル

（ロ）主要貿易国

輸出（2024年）：①ロシア（14.2%）、②中国（7.7%）、③カザフ（5.6%）

輸入（2024年）：①中国（26.4%）、②ロシア（20.3%）、③カザフ（7.3%）

（２）日本との関係

（イ）日本は第１位（２０２１年）の援助支援国。２０２１年までの日本の累計援助額は、有償資金協力５,０１０億１,１００万円、無償資金協力２９２億５３０万円、技術協力実績２０６億４００万円。２０１９年１２月にミルジヨエフ大統領が就任後初めて日本を訪日した際には、安倍総理大臣（当時）との首脳会談にてナヴォイ火力発電所近代化計画（フェーズ２）をはじめとした１,８００億円超の円借款３案件が決定された。

（ロ）日本との貿易**

日本の輸出（２０２４年）：４億３,６１５万ドル（原動機、自動車、重電機器、繊維機械等）

日本の輸入（２０２４年）：１,７８８万ドル（野菜（豆類）、肥料、非鉄金属（アルミ）等）

（ハ）二国間条約***

２００４年８月 日・ウズベキスタン航空協定発効

２００６年６月 日・ウズベキスタン技術協力協定発効

２００９年９月 日・ウズベキスタン投資協定発効

２０１９年１２月 日・ウズベキスタン税関相互支援協定発効

２０２０年１０月 日・ウズベキスタン租税条約発効

（二）在留邦人数（２０２４年１０月現在）***：１６１人

◆データ出所：*ウズベキスタン統計国家委員会、**日本国財務省貿易統計をもとにドル換算、***日本国外務省。

（了）